



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場取引所 東名札福

上場会社名 DOWAホールディングス株式会社

コード番号 5714 URL <http://www.dowa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 政雄

問合せ先責任者 (役職名) 企画・広報部門部長 (氏名) 吉井 出

TEL 03-6847-1106

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	108,658	10.4	9,152	11.4	10,775	23.9	7,548	34.9
25年3月期第1四半期	98,397	5.5	8,215	68.0	8,695	121.4	5,596	315.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 11,430百万円 (130.7%) 25年3月期第1四半期 4,954百万円 (129.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	25.50	—
25年3月期第1四半期	18.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	343,037	149,957	41.1
25年3月期	349,787	142,400	38.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 141,117百万円 25年3月期 133,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	12.00	12.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	216,000	11.8	12,500	10.4	13,500	9.4	8,000	37.2	27.03
通期	450,000	7.3	29,000	18.1	31,000	13.6	18,000	18.3	60.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	309,946,031 株	25年3月期	309,946,031 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	13,998,504 株	25年3月期	13,996,340 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	295,949,014 株	25年3月期1Q	295,953,031 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では住宅市場や雇用改善などで緩やかな景気回復が続いていますが、中国では経済成長の減速がみられ、その他の新興国でも成長率が低下しました。また欧州は、財政緊縮の動きの中で、経済的に厳しい状況にあります。一方、日本経済は、為替が円安基調になり輸出環境が改善したことや、経済政策による内需回復等を背景に、生産活動に持ち直しの動きが見られました。

当社グループの事業環境については、需要面では、自動車関連製品が堅調に推移しました。産業機械や建設機械向けの製品は、海外需要が低調ですが一部に回復の動きが見られました。また電子材料向け製品は、多機能携帯端末の需要拡大を背景に半導体関連製品などが伸長しました。相場環境は、金属価格が弱含みで推移し、為替は円安基調が継続しました。

当社グループは、このような状況の中、中期計画Vに沿って、市場・ユーザーの状況や変化に対応し、生産性向上・受注拡大に向けた施策を実行していきました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比10%増の108,658百万円、営業利益は同11%増の9,152百万円、経常利益は同24%増の10,775百万円、四半期純利益は同35%増の7,548百万円となりました。

主要セグメントの状況は次のとおりです。

環境・リサイクル部門

廃棄物処理は、国内の産業廃棄物発生量が低調な中、集荷ネットワークの強化に取り組み、処理量を増やしました。土壌浄化は、不動産市況が緩やかに回復する中、新規浄化技術の実用化や海外案件の受注拡大に努めました。リサイクルは、電子部品スクラップの海外集荷を拡大し、増集荷を図りました。また、海外事業では、東南アジアにおける廃棄物処理を順調に拡大しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比9%増の24,696百万円、営業利益は同71%増の2,202百万円となりました。

製錬部門

金属価格については、世界金融情勢と相まって不安定な動きをみせ、総じて下落局面にありました。為替については、前年末からの円高修正により円安基調が継続しました。このような中、各製錬所の稼働は順調に推移し、生産量を増やしました。また、重点施策であるスズ・アンチモンなど新金属の回収強化などを進め、コスト面では電力原単位や物品費の削減に努めました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比14%増の53,335百万円、営業利益は同30%増の3,266百万円となりました。

電子材料部門

多機能携帯端末などIT関連製品について市場ニーズに応える製品開発に加えて、新製品の拡販や新規顧客の獲得に努めました。需要面では、パソコン向けなどが低迷しましたが、多機能携帯端末向け製品やパワー半導体向けの窒化物半導体（HEMT）の需要を取り込み販売を伸ばしました。一方では、機能材料製品が、顧客の在庫調整の影響を受け販売量を減らしました。

これらの結果、売上高は前年同期比15%増の22,254百万円、営業利益は同25%減の1,597百万円となりました。

金属加工部門

自動車向けなどの端子やコネクタに使われる伸銅品やめっき品は、国内自動車生産が比較的堅調に推移したことにより、ほぼ前年同期並みの販売量を確保しました。民生用途の伸銅品は半導体向けについては、多機能携帯端末関連の需要拡大を取り込みましたが、パソコン関連の需要が低迷しました。産業機械向けのセラミックス基板は海外需要の一部に回復の動きが見られました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比5%増の20,073百万円、営業利益は前年同期並みの1,534百万円となりました。

熱処理部門

熱処理加工では、国内自動車生産が比較的堅調に推移しており、自動車関連製品ではほぼ前年同期並みの処理量となりました。一方、建設機械向け部品の受注は低調でした。工業炉は、海外での自動車生産拡大に合わせて新炉の拡販やメンテナンス需要の獲得に努めましたが、タイの水害復旧案件が含まれていた前年同期との比較では、売上高は減少しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比4%減の5,568百万円、営業利益は同9%減の468百万円となりました。

その他部門

その他部門の売上高は1,962百万円、営業損失は27百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して6,750百万円減少し、343,037百万円となりました。流動資産で5,582百万円の減少、固定資産で1,168百万円の減少となります。

流動資産の減少は、受取手形及び売掛金が2,228百万円減少したことや、積送中の原料が減少したため原材料及び貯蔵品が8,364百万円減少した一方で、商品及び製品が3,293百万円増加したことによります。固定資産の減少は、主に繰延税金資産の減少によります。

負債は、前連結会計年度と比較して14,306百万円減少し、193,079百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が12,697百万円減少したことや、流動負債その他に含まれる地金リース債務が5,511百万円減少したことによります。

純資産については、当第1四半期純利益を7,548百万円計上した一方で、配当金の支払を行った結果、株主資本が3,853百万円増加しました。また、株式の時価評価、デリバティブ取引の時価評価などによりその他の包括利益累計額が3,670百万円増加しました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から2.9%増加し41.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、現在のところ業績が想定した範囲内で推移しているため、平成25年5月9日に公表した見通しの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,163	4,611
受取手形及び売掛金	71,829	69,600
商品及び製品	20,900	24,193
仕掛品	4,294	4,928
原材料及び貯蔵品	55,087	46,723
繰延税金資産	3,287	2,351
その他	9,783	13,338
貸倒引当金	△59	△42
流動資産合計	171,287	165,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	96,511	98,033
減価償却累計額	△53,650	△54,829
建物及び構築物(純額)	42,861	43,203
機械装置及び運搬具	203,780	206,519
減価償却累計額	△172,605	△175,184
機械装置及び運搬具(純額)	31,174	31,334
土地	22,577	22,539
建設仮勘定	4,528	3,653
その他	12,020	12,414
減価償却累計額	△9,516	△9,703
その他(純額)	2,504	2,710
有形固定資産合計	103,647	103,441
無形固定資産		
のれん	7,325	7,280
その他	3,891	4,031
無形固定資産合計	11,217	11,312
投資その他の資産		
投資有価証券	56,187	56,941
長期貸付金	491	487
繰延税金資産	3,976	2,138
その他	3,147	3,176
貸倒引当金	△165	△165
投資その他の資産合計	63,636	62,578
固定資産合計	178,500	177,332
資産合計	349,787	343,037

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,403	29,705
短期借入金	52,514	57,414
コマーシャル・ペーパー	—	10,000
未払法人税等	5,353	2,154
未払消費税等	1,748	1,318
引当金		
賞与引当金	3,088	1,635
役員賞与引当金	169	2
引当金計	3,258	1,637
その他	27,847	20,452
流動負債合計	133,125	122,684
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	44,623	42,192
繰延税金負債	2,969	1,487
引当金		
退職給付引当金	10,990	11,084
役員退職慰労引当金	613	534
その他の引当金	435	408
引当金計	12,039	12,027
その他	4,627	4,687
固定負債合計	74,260	70,395
負債合計	207,386	193,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,437	36,437
資本剰余金	26,362	26,362
利益剰余金	68,180	72,035
自己株式	△5,688	△5,690
株主資本合計	125,291	129,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,990	9,984
繰延ヘッジ損益	89	1,365
為替換算調整勘定	△777	623
その他の包括利益累計額合計	8,302	11,973
少数株主持分	8,807	8,839
純資産合計	142,400	149,957
負債純資産合計	349,787	343,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	98,397	108,658
売上原価	82,866	92,071
売上総利益	15,531	16,587
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	866	831
販売手数料	179	130
役員報酬	353	371
給料及び手当	1,281	1,260
福利厚生費	401	370
賞与引当金繰入額	436	505
退職給付費用	149	155
役員退職慰労引当金繰入額	42	41
賃借料	177	192
租税公課	213	226
旅費及び交通費	362	361
減価償却費	170	156
開発研究費	1,102	1,242
のれん償却額	123	131
その他	1,456	1,456
販売費及び一般管理費合計	7,315	7,434
営業利益	8,215	9,152
営業外収益		
受取利息	26	32
受取配当金	264	294
為替差益	—	348
持分法による投資利益	487	810
その他	729	819
営業外収益合計	1,508	2,305
営業外費用		
支払利息	441	395
為替差損	148	—
その他	437	287
営業外費用合計	1,027	683
経常利益	8,695	10,775

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	46	22
受取保険金	—	21
投資有価証券売却益	—	11
その他	0	9
特別利益合計	47	65
特別損失		
固定資産除却損	52	42
災害による損失	62	1
投資有価証券評価損	253	—
固定資産売却損	1	—
その他	17	4
特別損失合計	387	48
税金等調整前四半期純利益	8,355	10,792
法人税、住民税及び事業税	1,044	2,714
法人税等調整額	1,575	386
法人税等合計	2,620	3,101
少数株主損益調整前四半期純利益	5,735	7,691
少数株主利益	138	143
四半期純利益	5,596	7,548

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,735	7,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,122	662
繰延ヘッジ損益	477	1,164
為替換算調整勘定	68	670
持分法適用会社に対する持分相当額	795	1,241
その他の包括利益合計	△780	3,739
四半期包括利益	4,954	11,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,775	11,218
少数株主に係る四半期包括利益	179	211

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	環境・リ サイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	計				
売上高										
外部顧客への売上高	14,067	40,203	18,809	19,180	5,785	98,046	350	98,397	—	98,397
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	8,575	6,540	532	4	0	15,652	1,656	17,308	△17,308	—
計	22,643	46,743	19,341	19,185	5,785	113,699	2,006	115,706	△17,308	98,397
セグメント利益	1,291	2,509	2,140	1,536	512	7,989	647	8,637	△422	8,215

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、プラント建設業、土木工事業、建設工事業、事務管理業務、技術開発支援業務など、主にグループ間取引を含んでいます。
- 2 セグメント利益の調整額△422百万円には、セグメント間取引消去額△469百万円及び未実現利益の調整額47百万円が含まれています。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	環境・リ サイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	計				
売上高										
外部顧客への売上高	15,024	45,784	21,826	20,070	5,568	108,274	383	108,658	—	108,658
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	9,671	7,551	428	3	0	17,654	1,578	19,232	△19,232	—
計	24,696	53,335	22,254	20,073	5,568	125,928	1,962	127,891	△19,232	108,658
セグメント利益又は 損失(△)	2,202	3,266	1,597	1,534	468	9,069	△27	9,041	111	9,152

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、プラント建設業、土木工事業、建設工事業、事務管理業務、技術開発支援業務など、主にグループ間取引を含んでいます。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額111百万円には、セグメント間取引消去額183百万円及び未実現利益の調整額△72百万円が含まれています。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。